



江戸烈さん

綾部商工会議所の誘致を受けて

綾部市の中心市街地、古民家が軒を連ねる大本通り商店街にて、地元特産品を使用した米菓子の製造・販売を行う「お米菓子いっぶく半月庵 丹の国店」。平成21年7月のオープン以来、手焼きせんべいや“米粉どら焼き”などの個性的で種類豊富な商品群をはじめ、実演販売や体験コーナーなどの魅力的な仕掛けで地域住民の心をつかみ、着々と認知度を高めてきています。同店を運営するのは兵庫県加西市に本社を置く「合名会社アリモト」で、空き店舗を利用した商店街活性化事業を進める綾部商工会議所の誘致を受け、同社3店目の直営店として開店しました。

アリモトは昭和27（1952）年の創業。当初はかりんとうやスナック菓子を製造していましたが、昭和35（1960）年より本格的なせんべい製造に取り組み、原料や製法にこだわった自社工場一貫生産の米菓製造・販売会社として現在に至ります。なかでも安心・安全な商品づくりに対するこだわりは特に強く、同社の工場は日本の有機JAS認証はもとより、ヨーロッパとアメリカのオーガニック製品認証機関からも認証を取得。国際レベルでの信頼を得ているのが大きな強みです。



どら焼きの製造風景

ファンド資金でこだわりの改装

大本通り商店街への出店を決めたアリモトはその準備に際してファンドの採択を受け、助成金は店舗改装に役立てました。店づくりのテーマは「米」。店内には棚田をモチーフにした陳列棚を設けるなど、元の古民家の重厚感を活かしつつも独自のテーマを随所に反映した、重厚かつ、モダンな雰囲気のある店舗改装が実現します。

当店の特徴の一つに商品の実演販売がありますが、そのための設備も調えました。ガラス張りの厨房ではどら焼きの、通りに面した専用ブースではせんべいの、手焼きの様子をそれぞれ見ることができます。元ホテルマンという

商店街を活性化

経歴を持つ店長の江戸烈さんは、「前職の頃から食の安全には強いこだわりがあります。当社の有機認証工場の件もそうですが、こうしてお客さんの目の前で製造できることは安全性アピールの面で大いに意味があると思いますし、お客さんの反応もダイレクトですね」と話します。



棚田をイメージした陳列棚

地元産品と米粉で名物どら焼きを

本社からの定番商品はもちろん、やはり同店オリジナルである“米粉どら焼き”が自慢の一品です。同じ米菓子でも、これまでは乾き物ばかりだったので、半生製品にも取り組んでみようという社長の意向で新たに開発されました。小麦粉ではなくアリモトの専門分野である米粉を使い、さらに丹波の大納言小豆、綾部の玉露、地卵など地元の特産物を使用して、ゆくゆくは「綾部名物的な商品に仕上げられたら」との思いも込められています。

米粉どら焼きは米粉特有のもっちりした食感が人気ですが、日にちが経つとどうしてもパサパサしてしまいます。しかし改善を重ねて、従来品よりも日持ちするように仕上げました。オープン当初は「小豆」「玉露」の2種類だけだった味のバリエーションも、「柚子」「黒胡麻」などが加わり7種類に。夏場はアイスのどら焼きを「ひやどら」のネーミングで売り出し、好評を得ました。常にお客さんの目と気



畳敷きの“いっぶく”スペース

を引く商品開発を心掛け、季節感を意識した食材などの研究に余念がない江戸さんは「ここに来てから太りました」と笑います。

せんべい類も常時数十種類揃う圧巻の品揃えが魅力で、試食コーナーで自由に味見できるのも嬉しい限り。また、店内奥にはコーヒーや黒豆茶を楽しんでもらえる座敷の喫茶スペースがあり、「いっぶく半月庵」の店名にふさわしい“いっぶく”のひとつを提供しています。

じっくりと“綾部名物”を育てたい

オープンから1年余り。「まだまだ満足はできないし、改善の余地はある」とはいうものの、来客はそこそこ見込めるようになってきました。お客さんの大半は地元の年配の方ですが、その方たちがよそに行く時に“綾部からのおみやげ”として持って行くものができたと喜んでくれているそうです。お中元・お歳暮のギフト需要も好調でした。「和菓子屋さんはこの通りにも何軒かありますが、うちのせんべいやどら焼きは、うちにしかないもの。頑張ってる綾部名物にしたいという思いはありますね」。現在、ネットショップを併設したホームページを制作中で、そこから新たな販路を広げていく予定。“洋”の要素を取り入れた商品開発にも取り組み、若者ターゲットの商品も増やしていきたいと考えています。

現状、商店街活性化への同店の影響を尋ねると「正直わからないというのが本音ですが、集会などで“半月庵さんとは、よう人が来とってやなあ”と言ってもらえるようになってきた。そういう声を聞くと、ある程度は貢献できているのかなとは思いますが」と江戸さん。歴史ある商店街だけに店主が年配者である商店が多いようですが、若く元気な店が増えれば連携も取りやすく活性化への取り組みもしやすくなるので、同店に続く新たな出店にも期待したいところです。

事業概要

合名会社 アリモト

<http://arimoto.co.jp/>

代表：有元年信

業種：菓子製造販売業

創業：昭和27（1952）年 設立：昭和31（1956）年

住所：〒678-0104

兵庫県加西市常吉町字東畑 647-9

TEL：0790-47-2220 FAX：0790-47-2221

綾部店

住所：〒623-0021

京都府綾部市本町 2-19

TEL：0773-43-3323